



知的クラスター創成事業
大阪北部(彩都)

大阪北部(彩都)バイオメディカルクラスター
産学官の「知の結集」による画期的な創薬



概要

大阪北部地域には、大阪大学や国立循環器病センターをはじめ、優れた研究機関が多数存在し、また我が国有数の製薬企業等が集積しています。

こうした地域の研究ポテンシャルを活かして、生体高分子を医薬品として、あるいはそれを標的とする画期的新薬(分子医薬)を創り出すのに利用できる先進的な研究を推進するとともに、研究成果の技術移転やバイオベンチャー企業の創出を支援することなどにより、世界的な研究成果や国際競争力のある産業を生み出す「バイオメディカルクラスター」の形成を目指しています。

クラスター本部体制

- 顧問……………岸本 忠三(前 大阪大学総長、内閣府総合科学技術会議議員)
- 事業総括……………藤野 政彦(武田薬品工業株式会社相談役)
- 研究統括……………山西 弘一(大阪大学大学院医学系研究科長)
- 副研究統括兼科学技術コーディネータ 蔭山 文次
- 科学技術コーディネータ 皆見 敏明、中川 英彦

中核機関

財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

参加研究機関

(太字は核となる研究機関)

産…アンジェスエムジー(株)、(株)カルディオ、クリングルファーマ(株)、
日東電工(株)、日本電子(株)、東洋紡績(株)、(株)ニコン、サイボックス(株)
学…**大阪大学**、(財)阪大微生物病研究会
官…国立循環器病センター、大阪府立成人病センター 他

事業総括
藤野 政彦



1999年武田薬品工業会長、
2003年6月相談役、財団法人
ヒューマンサイエンス振興財
団会長兼任(2000年～)

世界中のサイエンティストが集うバイオヒルの誕生へ

知的クラスター創成事業も早や3年目を迎えました。

この間、関係者のご協力を得て事業推進体制を整備する中で、研究開発面では、知の結集を進めるための複合的な研究体制を構築するとともに、科学性、産業性の両視点からの研究の進捗管理を導入してまいりました。

また、事業化に向けては、産業界と研究者によるシーズ・ニーズの交換会、医工等の異分野の意見交換会、特許調査・市場調査の実施等、研究支援活動を行うことなどにより、これまでの研究成果が着実に事業化・産業化へと結びつきつつあるところです。

一方、大阪北部地域では、昨年4月から「バイオメディカル・クラスター創成特区」として、クラスター形成に向けた一定の規制緩和が講じられるとともに、本年4月には、いよいよ彩都(国際文化公園都市)がまち開きを行い、医薬基盤研究所(仮称)や彩都バイオインキュベータ(仮称)の開設が相次いで予定されているところです。

当クラスター本部としましては、関西が有する世界的な知と産業のポテンシャルを基盤に、再生医療等をテーマとする神戸地域と共同で、広域クラスターとしての研究開発や知的財産戦略の構築に着手するなど、相互連携を強化し、最先端で革新的な技術の創出と事業化を指向するライフサイエンスの国際的拠点「関西広域クラスター」を形成してまいります。

産学官による共同研究のあらまし

「分子医薬創生技術に関する基盤的研究」を共通軸に3つの研究クラスターを設定し、多数の実用化研究の結集を図ります。

- ①「創薬クラスター」では、病気を治療できる遺伝子の発見や、薬の開発に必要な研究を通じ、治療が困難な病気に対する画期的な薬の開発を進めています。
 - 「3大疾患制圧のための細胞制御技術の開発」など
 - ②「免疫・抗感染戦略クラスター」では、生体の免疫反応と化学療法を組み合わせ、抗生物質などの従来の化学療法では効果のなかった感染症に対する有効な治療薬・ワクチンの開発を進めています。
 - 「薬剤と生体機能のインターアクションを利用した新規抗感染症薬などの創出技術」など
 - ③「医工連携クラスター」では、医学系、工学系それぞれの優れた技術を融合し、バイオメディカル分野の創造的な研究の基盤となる最先端の計測分析技術や機器の開発を進めています。
 - 「光量子プロセス（レーザー技術）を利用した生体分子制御技術の創生」など
- ☆「関西広域クラスター共同研究事業」として、神戸地域クラスターとの共同で、骨粗しょう症や変形性関節症など骨疾患の根本的な治療を目指した研究開発を進めています。
- 「骨、軟骨の分化制御技術の開発」（大阪北部（彩都）地域研究課題）
 - 「ES細胞から骨・軟骨細胞への分化システムの開発」（神戸地域研究課題）

